

高分子化合物の

単分散合成と構造解析および応用

—合成化学から画像AIを活用した材料分析の可能性まで—

1名分料金で
2人目無料

【LIVE配信】

【アーカイブ配信】

◆日時: 2026年2月17日(火)13:00~16:00

【アーカイブ配信: 2月18日(水)~3月4日(水)】

◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 北海道大学 大学院工学研究院 教授 博士(理学) 猪熊 泰英 氏

【受講対象・レベル】

- ・材料設計を分子レベルで理解できる
- ・高分子化合物の新たな視点が得られる
- ・機械学習と材料開発の接点を知ることができる
- ・画像機械学習の基礎知識が身につく
- ・閉塞感のある領域に新しいアイデアを導入するヒントが見つかる

本セミナーでは、ポリケトンと呼ばれる化合物に対し、単分散合成(分子鎖長をそろえた合成)を行うことで初めて明らかとなった構造的および物性的特徴について紹介する。結晶構造から反応性まで、長さの異なる高分子は全く違った性質を見せる。また最近、短いポリマー分子にもイオン伝導材料やがん診断デバイスなど非常に興味深い応用可能性が見出されている。

セミナーの後半では、画像機械学習を活用した材料分析の可能性について紹介する。近年、AI技術を化学研究に導入する動きが活発化しているものの、合成研究の現場では「どのようなデータをどのように活かせばよいのか分からない」という声も多い。ここでは特に、高分子化合物の分析にも将来的に応用可能な、画像データを入力とする機械学習手法の活用例を取り上げる。

【プログラム】

1. 長さの揃った高分子化合物の合成、構造解析、応用
 - 1-1 単分散ポリケトンの合成
 - 1-2 長さに依存した結晶構造の変化-高分子と小分子の境界-
 - 1-3 ポリケトンの分子変換
 - 1-4 単分散ポリケトンの応用
2. AIの目で化合物を見る
 - 2-1 研究者の経験と勘
 - 2-2 画像機械学習の基礎
 - 2-3 写真から混合比を予測する
 - 2-4 画像機械学習による混合比予測の応用
3. まとめと将来展望

【質疑応答】

【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

『高分子構造解析【WEBセミナー】』セミナー申込書 < ■LIVE配信 ■アーカイブ配信 >

会社・大学		
住 所	〒	
電話番号		FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 Eメール 郵送

●セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>